

九重山系 ～星空とご来光～

# 湧蓋山早朝登山 1,500m

九州百名山

実施日 2020年8月10(水・深夜)  
～11日(祭/木)

ガイド: 池田俊明

参加料: 10,800円

体力度: 3.0 標高差: 約450m

行動時間: 約3.5時間

◎日の出: 午前5:33

集合場所

佐賀市役所西向い・・・23:30

金立SA下P・・・23:45

東背振支所・・・24:00



湧蓋山山頂

ガイドクラブ: 0952-37-0577

当日(池田): 080-1772-8359

**<行程>** ※タイムスケジュールは道路・天候状況などで変わることがあります。

東脊振 IC 00:15 == 玖珠 IC == はげの湯側・湧蓋山登山口(準備・ストレッチ) 2:20～2:50...

湧蓋山山頂(軽食) 4:30～6:00...ひぜん湯(ストレッチ) 8:00～8:30 == 温泉(入浴) 9:00～

10:00 == 玖珠 IC == 東脊振 IC == 東背振支所 11:45 == 金立SA下P 12:00 == 佐賀市役所西向い 12:20

※お風呂は筋湯温泉・九重いやしの里ホテル大高原を予定。(☎: 0973-79-3301)

## <山とコースの概要>

早朝登山は九重の中岳が多かったが、大分の由布岳にも挑戦したことがある。ただし、由布岳は別府湾に面しているため、早朝はガスが出ることが多いようで、ご来光を見るのが難しいため、行き先を九重に戻している。今回は、九重山系の中で最も西側に位置している湧蓋山に挑戦する。登山口は山頂から見ると西側になる「はげの湯」側から登り「ひぜん湯」に下りてくる予定。所々から蒸気が出ている「はげの湯」地区を過ぎて林道に入り、上部の「湧蓋山登山口」を目指す。標高1100mある登山口から西側の急斜面を利用する。歩き始めは足元にミヤコザサ、頭上にはカラマツが繁っている。急斜面を頑張るとアセビやウツギの灌木地帯で、所々にミヤマキリシマも群生し、徐々に視界も開けるが早朝登山の場合はヘッドライトの明かりしか見えない。やがてフラットな湧蓋山山頂に到着する。

夏の暑い時期といえども、約1500mの山頂で日の出を待つ間は寒さに震えます。防寒準備をしてご参加ください。また、山頂で日の出を待つ間に軽食を取りますので、温かいものを少し準備出来たらよいと思います。日の出を見たらゆっくりと山頂を後にし、東側になるひぜん湯側に下ります。

なお、お天気が悪い場合は実施できませんので、あらかじめご了承ください。中止の時は必ずこちらから連絡差し上げます。

避暑を兼ねて、夏の素晴らしい思い出作りに、皆で行く早朝登山を体験してみませんか。

<参加の注意点>

- ・ 料金に含まれるもの=集合場所からの交通費・温泉代・ガイド料・保険料
- ・ 含まれないもの=昼食・行動食・個人の装備
- ・ 参加料は1週間前までにお願いします。
- ・ キャンセル料につきましては、3日前から参加費の50%がかかります。当日キャンセルは全額返却いたしません。
- ・ 雨や暑さなど天候によっては行程より遅れたり、体力度が上がる場合があります。
- ・ 雨などで中止の時は必ずこちらから連絡します。
- ・ 山中撮影した写真につきましてはガイドクラブの宣伝及びDVDの販売等で使用しますが、写真に写りたくない方は事前に申し出てください。またこれらのデータは他の目的では使用しません。
- ・ 雨具やヘッドライト等、必要な装備が無い時に装備不十分とリーダーが判断した場合、安全のために山行を取りやめていただくことがあります。

装備品名	◎=絶対に必要	○=持っていれば持参	△=あれば便利		
雨具	◎	飲み水 1.5ℓ以上	◎	水に溶けるティッシュ	◎
防寒具	◎	緊急用品・医療品	○	ビニール袋	◎
帽子	◎	ヘッドランプ	◎	健康保険証(コピー)	◎
手袋(防寒)	◎	地図・コンパス	△	非常食・行動食	◎
スパッツ	○	タオル・バンドナ	△	お弁当(軽食、朝食)	◎
ザックカバー	○	マグカップ	△	携帯電話・スマホ	◎
ストック	○	レジャーシート	△	百名山スタンプ帳	◎

※温泉道具(タオルや着替え、個人用のシャンプーなど)

※ 寒さ対策と、ヘッドライトの点灯確認、新しい電池への交換をお勧めします。

※ 九州百名山対象登山ですのでスタンプ帳をお持ちください。涌蓋山(31番)にスタンプを打ちます

<登山ルート>

